提供　大町エネルギー博物館友の会
フォーマルハウト
２号 2021年7月7日

ほしぞらかべ新聞 プレアデス

お問合せ　大町エネルギー博物館
電　話）0261-22-7770
メール）omachiemuse@yahoo.co.jp
もしくはフォーマルハウトホームページ「お問い合わせ」から

夏の夜は流れ星 ペルセウス座流星群

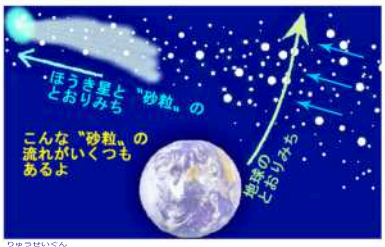
流れ星は、宇宙をただよう〝砂粒〟が、ほうき星がまきちらしたものだよ。〝砂粒〟が地球の大気とぶつかって光る星が、とつぜん流れてきえるわけじゃないんだ。

夏の夜は流れ星が多くて、とくに、8月13日の夜あけ前は「ペルセウス座流星群」といって、晴れていればたくさんの流れ星が見られるよ。

〝砂粒〟は上空100kmぐらいで大気とぶつかるから、流れ星は東京や名古屋、もちろん長野県の空にも現れるよ。空ぜんたいに見えるから、空のどこを見ていてもいいんだ。

夏休みのころは流れ星が多いので、ぜひ見つけてみようね。

監修　日本流星研究会



流星群は、太陽をまわる地球と、やはり太陽をまわる流れ星の〝砂粒〟の流れがまじわって出現するよ。毎年同じころに見られるし、いろいろな流星群があるよ。

夏休みは惑星や流星と話題がいっぱい！ほしぞらを楽しみましょう。
この「ほしぞらかべ新聞プレアデス」はフォーマルハウトのホームページからダウンロードもできます。ご利用、配布してください。
次回は秋の星座（エチオピア王家の物語）と11月の部分月食を取り上げます。お楽しみに。https://fomalhaut-omachi.ltt.jp/

9月21日は十五夜、『中秋の名月』。この季節の月は、エモいらしい。お月見してね！いも名月ともいうよ！イモい！！

七夕の星

7月7日は七夕です。「七日の夕」と書いて「たなばた」と読みます。〝棚機〟とも書きます。

このころは、梅雨。空は雲でおおわれることが多く、星を見ることがなかなかできません。

そこで、国立天文台では古くから使われていたお月様のカレンダーの7月7日を「伝統的七夕」として、星空をながめてみようとよびかけています。

今年の伝統的七夕は8月14日です。夜空を見上げてみませんか？七夕の星たちは空の高いところでまたたいています。

～宇宙なぞなぞ～

Q１　86この星が集まるとカワイイ動物になるんだって！　な～んだ？

Q２　へんな においのする星って なーに？

1号の宇宙なぞなぞ、答えは 1：流れ星（名が〝れ〟）　2：宇宙飛行士（うちゅうひこウシ）

こんにち惑星さんきゅう

スイキンチカモクドッテンカイ

地球が太陽のまわりを回っているように、たくさんの星が太陽のまわりを回っています。その中でも太陽に近くて大きな8個の星を「惑星」とよんでいます。

惑星は太陽の光をうけてかがやきます。そのかがやいているすがたを私たちは地球から見ることができます。

惑星は太陽から近いじゅんに「水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星」と8個あります。土星までは望遠鏡がなくても自分の目で見ることができます。

これからは暗くなると東の空に「土星」と「木星」がのぼってきます。星座の星よりずいぶん明るくかがやいているので、きっとすぐ見つかるでしょう。

フォーマルハウトかべしんぶんプロジェクト KSP